



こんにちは♪

日本共産党市議会議員

小野寺ゆきえです!

民主苦小牧号外

2026年

7.5

No.1147



お茶の間懇談会で平和再確認

先日、10人くらいの女性が集まって、お茶の間懇談会をしました。年齢層は70代・80代です。楽しく近況などを交流したあと、私は「みなさんにクイズで〜す」と切り出しました。みんなは興味深々の様子です。私は「非核三原則、①持たず、②作らず、③？」と書いた1枚の紙をかざし、「③は何でしょう？」と質問しました。

みなさんからは「増やさず」とか「売らず」などの声が続々と出てきますが、正解が出ません。ついに「降参！」となりました。私が「正解は“持ち込ませず”です」というと、「あ〜そうだった!!」と盛り上がります。

そこで、私が「高市首相は“持ち込ませず”を邪魔だと考えているんですよ」と伝えると、「それはダメだよ」

「恐ろしいことを考えるね」「高市さんは何でそんなことをするんだろうね」と政治談議に変わります。

全国の地方議会では、『非核三原則の堅持を国に求める要望意見書』が次々と採択され、苦小牧も国に提出していることを話すと、それが勇気となり、「みんなで“非核三原則を守ろう”」と一致団結することができました。

お茶の間懇談会の日のしんぶん赤旗には、『トマホーク1発7億円超 米軍単価の2倍』という記事が載りました。トマホークは、数千キロメートルも飛ばすことができるアメリカ自慢の武器です。それを、アメリカの言い値で買わされるのです。トマホークは一度に何発も同時に発射するので、数十億円が瞬時に消える計算です。お茶の間懇談会でこの記事も紹介すると、「こんなに暮らしが大変なのに、何でそんなもの買うの?」「トランプ大統領はとんでもないね」「高市首相はトランプいいなりだね」という不満の声が噴き出します。

今年2月、アメリカとイスラエルは、トマホークを次々と発射し、イラン攻撃を開始しました。イランの小学校に打ち込み、160名の児童生徒を殺害したのもトマホークです。専制攻撃のための武器であり、敵の国を攻撃するための武器を、なぜ平和憲法を持つ日本が購入しなければならないのか。お茶の間懇談会では、「戦争は絶対にやってはいけない」との声が溢れ、それぞれの戦争体験や戦後の辛かった話しに変わりました。こうして平和の大切さを再確認し、高市首相が目指す「戦争する国づくり」を止める大きな力になるのだと感じます。